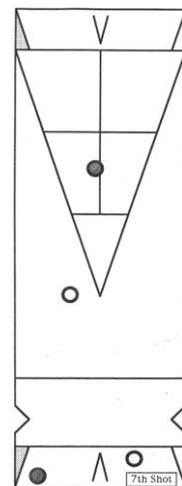


SC-45 難しい選択**“Tough choices” by Lary Faris**

抄訳：薩川俊三

シャフルボードは私達に難しい決定を強いる。シュートする場所が幾つかあるボードの状況に、何度も直面する。その全てが可能性と危険を持っている。決定するための明瞭な理屈がないことが多く、難しい選択だ。

このコラムはそのような状況の一つだ。フレームの第7ショットで、イエローがシューター、ブラックがハンマーを持っている。ボード上にイエローのセントピートがあり、その後ろに隠すことができる。8/8ライン上にブラック・ディスク（ライナー）があり、その大部分がブラック側だ。イエローはそのライナーを無視できない。ブラックがダブルにして、16得点する可能性がある。



イエローは何処へシュートすべきか？ 少なくとも三つの選択がある。選択1は10の頂点左にシュートして、ライナーのカバーだ。選択2はライナーをそのままにして、隠すシュートだ。選択3はライナーを10-OFFに入れ、シュートディスクは8に止めてその一部でもセントピートによりカバーされることを望むプレーだ。

選択1のライナーのカバーが一番安全なショットで、ブラックのハンマーの8への得点を妨害する利点もある。一方、若しこのカバーが不完全で、ライナーの片側が見えると、ブラックはダブル得点ができる。潜在的ダブルのカバーは、得点のカバーよりももっと正確にディスクを置かなければならない。

選択2の隠すショットは、75ポイントゲームでイエローが大きくリードしていて、早く75ポイントに近づこうとする時にだけ良い選択だ。しかし、うまくいかないこともある。次のフレームで、ハンマーで得点をする方が良い。

選択3のライナーを10-OFFに入れ、シュートディスクをセントピートの後ろにぐるりと回そうとする選択はスーパーショットで、多くのゲームで勝利に導く。しかし、望ましくない結果になる危険が常にある。イエローはブラックに10-OFFの代わりに7を与えるかも知れないし、自分のディスクを完全に見える所に残して、10-OFFに入れられるかも知れない。

私ならどうするか？ ゲームの中盤で、殆ど同じ得点とする。シングルスでは、選択3をする。即ち、ライナーを10-OFFに入れ、シュートディスクを8に隠そうとする。少なくとも部分的に隠れた8になるように、注意深くプレーする。そして7得点を絶対に与えないようにする。しかし私がそのコートでうまくプレーしていない時は、これは試みない。ダブルスでは、私は安全にプレーしてライナーをカバーする選択1だ。これは最も確実なショットで、用心深くプレーしてパートナーの信頼を保つ。危険なショットはシングルスで行う。